



東生駒病院 リハビリテーション科 リハビリテーション機器のご紹介

電気刺激装置

脳卒中や脊髄損傷の方で、麻痺をしている筋肉に対して電気刺激で筋肉の収縮を起こし、麻痺の回復を図る装置です。

◆ IVES

患者さん自身の筋活動電位（筋肉を動かそうとする活動）を電極で感知し、電気刺激が流れるのが特徴です。動作や作業活動の中で、患者さん自身が動かすタイミングで電気刺激が流れスムーズな動きを導きます。



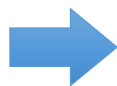
◆ DRIVE

電極が2セットあり、2か所同時に電気刺激を流すことができます。例)脳卒中の麻痺では、腕を上げる運動時に肘が曲がってくる方へ肩と肘の2か所同時に電気刺激を送り、肘を伸ばした状態で腕をあげる運動へ導きます。

※脳卒中治療ガイドライン 2015 において、グレード B(行うよう勧められている)とあります。
※使用効果には個人差があります。主治医からの許可・指示が必要となります。

免荷式歩行リフト POPO

腰からお尻に巻くハーネスベルトをリフトでつり上げ、足にかかる体重負荷を軽減し立つ練習や歩く練習に使用します。



ポータブルスプリングバランサー

スリングで腕を空間に持ち上げる力を補助し、腕を動かす動作や作業活動に使用します。

練習例)物に手をのばして握り別の場所へ移動させる

